Panasonic

部屋干しファン　工事説明書

品　番	FY-07SB

・この工事説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠警告

■設置工事はお買い上げの販売店または、専門業者に依頼する
ご自分で設置工事をされ不備があると、感電、火災の原因になります。

■電源電線は確実に接続する
不確実な接続をすると接続部が過熱し、火災のおそれがあります。

■仕様変更・改造は絶対にしない
火災・感電・けがの原因となります。
分解禁止

■電源電線は確実に固定する
損れによる摩擦で被覆が破れた場合、感電や火災の原因となります。

■配線工事、電源接続工事は、関連する法令・規程に従って、必ず電気工事士が確実におこなう
誤った配線工事は、漏電、感電や火災のおそれがあります。

■メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造造営物に設置する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける
メタルラス、ワイヤラス、ステンレス板などに接触していると、漏電した場合、火災の原因となります。

■交流100ボルト以外で使用しない
火災・感電の原因となります。
禁止

⚠注意

■炎があたるおそれのある場所には取り付けない
プラスチック部品が変形したり、着火して火災となるおそれがあります。
禁止

■浴室など、湿気の多いところに取り付けない
感電や故障の原因となります。
水場使用禁止

■部品は確実に取り付ける
落下により、けがをするおそれがあります。

■取り付けの際は必ず手袋を着用する
けがの原因となります。

■本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する
落下により、けがをするおそれがあります。

■十分な換気をする（有効換気量70m³/h以上）
結露・カビの発生の原因になります。

お願い

■油煙の発生する場所に取り付けないでください。
故障の原因になります。

■スプレーを常時使う場所に取り付けないでください。
故障の原因になります。

■リモコンは直射日光が当たるところや、シャワー等の水がかかりやすいところには取り付けないでください。
故障の原因になります。

■有機溶剤を使う場所に取り付けないでください。
故障の原因になります。

■同一空間内に熱交換形換気扇の吸込口を設置しないでください。
湿った空気が他の部屋に放出されたり、結露などが発生したり、洗濯物が乾きにくくなる場合や、故障のおそれがあります。

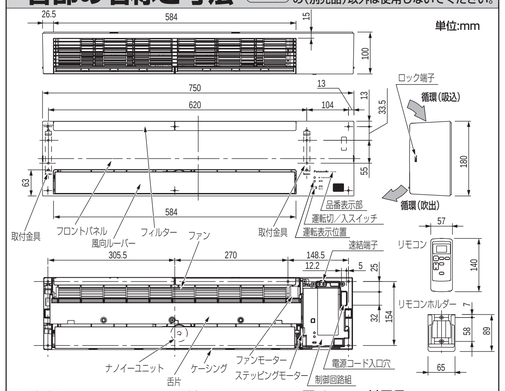
■高温になる場所（周囲温度40℃以上）に取り付けないでください。
モーターの寿命を縮めたり、故障の原因になります。

■必ず換気扇（有効換気量70m³/h以上）を同一空間内の本体近傍に設置し効果的な換気のため給気口を設けてください。
結露・カビの発生の原因となります。

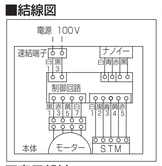
■製品本体は傾かないよう（水平）に設置してください。
故障の原因になります。

各部の名称と寸法　お願い この製品専用の付属品あるいは指定のもの（別売品）以外は使用しないでください。

単位:mm



■結線図



■付属品

ねじ	11個
取付金具	2個
取扱説明書（必ず客様にお渡しください）	1冊

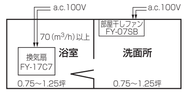
■リモコン付属品

ねじ（リモコンホルダー固定用）	2個
リモコン	1個
リモコンホルダー	1個
単4乾電池	2個

■専用部材
コンセントへ電源接続する場合は、別売の部屋干しファン用プラグコードをご使用ください。
品番：FY-WS01
部屋干しファン用プラグコードをご使用になる場合は、付属の工事説明書をご参照願います。

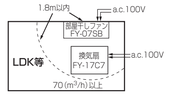
■換気扇の設置について（代表例）
必ず、下記の設置例を参考に換気扇を設けてください。

①洗面所設置時



浴室または洗面所に換気扇を設置する。

②居室設置時



部屋干しファンの近傍（2坪以内）に換気扇を設置する。
浴室の換気扇で湿気を排出することはできません。

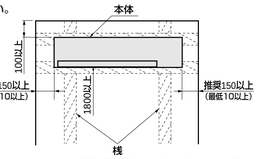
施工方法　以下の手順に従って施工してください。

取り付けかた

単位:mm

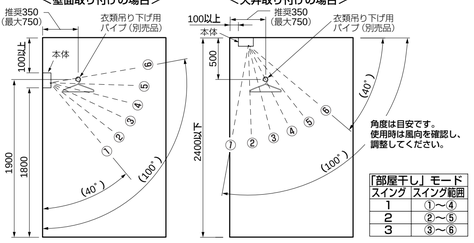
1　設置位置の決定

■図のような取り付け位置を確保してください。
●壁・天井が、水平であることを確認してください。
●取り付けは、必ず補強板・桟がある位置に設置してください。
※壁面取り付けの場合で、市販の石膏ボード用アンカーをご使用になる場合は、石膏ボードの厚み、ねじ径（φ4）に適合した十分強度があるもの（耐荷重：5kg以上）をご使用していただき、本体右端のねじ（2点）および、取付金具の片方を桟または補強板に固定してください。
※天井取り付けの場合は、石膏ボード用アンカーを使用した取り付けはおこなわないでください。
●照明カバーのない200V系照明器具の部屋では使わないでください。
●本体は電子点灯方式の蛍光灯（インバーター・ラピッドスタート式など）より0.5m以上離して取り付けてください。（リモコンの信号を受け付けないことがあります）
●室内の明るさ、電子点灯方式の蛍光灯（インバーター・ラピッドスタート式など）との距離、家具の配置、床・天井・壁の材質などにより、操作可能距離が変わることがあります。



※本体は、衣類吊り下げ用パイプの中心と合わせるように設置してください。
衣類吊り下げ用パイプの工事説明書を確認うえ、位置を決定してください。

■設置例



「部屋干し」モード

スイング	スイング範囲
1	①～④
2	②～⑤
3	③～⑥

2　取り付け前の準備

①本体を安定した台や床に置き、風向ルーバーを開き、本体中央部のねじをゆるめる。（ねじは取りはずさないでください）

②本体左右のロック端子（2個）を指で押し、ゆっくりフロントパネルを手前に引いてはずす。

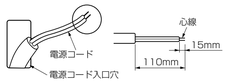
3　本体の取り付け

壁面取り付けの場合

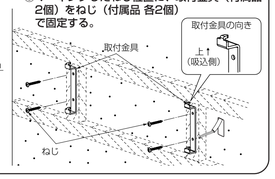
①型紙を利用して壁に取付金具のねじ位置をマーキングし、電源コード入口穴を開ける。

お願い
・取付金具が壁下地材にかかるように取り付けてください。
・穴が、すじかい、屋内配線、電話ケーブルなどにかからないように注意してください。

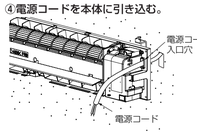
②電源コード（2心）（市販品：VVFケーブル φ1.6またはφ2.0）を引き込む。



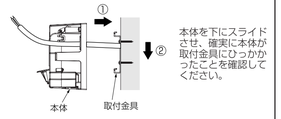
③マーキングしたねじ位置に、取付金具（付属品2個）をねじ（付属品 各2個）で固定する。



④電源コードを本体に引き込む。

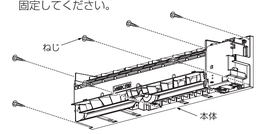


⑤取付金具に本体を引っ掛ける。

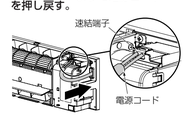


本体を下にスライドさせ、確実に本体が取付金具にひっかかったことを確認してください。

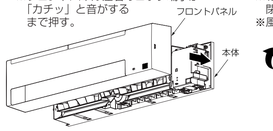
⑥本体をねじ（付属品 7個）で固定する。
※本体右端のねじ（2点）は必ず桟または補強板に固定してください。



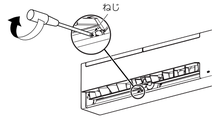
⑦連結端子に電源コードを接続し、たるみがないように電源コードを押し戻す。



⑧フロントパネルを取り付ける。
※フロントパネル左右のロック端子が「カチッ」と音がするまで押す。



⑨フロントパネルをねじで固定する。
※ねじを締めないと風向ルーバーが最後まで閉まりません。
※風向ルーバーは通電すると閉じます。



天井取り付けの場合

①～④は「壁面取り付けの場合」と同様に取り付け、⑤からの手順で確実に取り付けてください。

⑤取付金具に本体を引っ掛ける。

本体を図のようにスライドさせ、確実に本体が取付金具にひっかかったことを確認してください。

⑥本体をねじ（付属品 7個）で固定する。
※必ず桟または補強板に固定してください。

⑦連結端子に電源コードを接続し、たるみがないように電源コードを押し戻す。

⑧フロントパネルを取り付ける。
※フロントパネル左右のロック端子が「カチッ」と音がするまで押す。

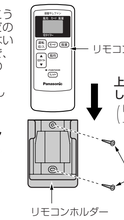
⑨フロントパネルをねじで固定する。
※ねじを締めないと風向ルーバーが最後まで閉まりません。
※風向ルーバーは通電すると閉じます。

⑩必ず「6 天井取り付けの設定」をおこなってください。

4　リモコンの取り付け

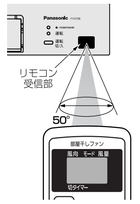
①取り付け位置を決める。
（取り付け位置はお客様とご相談のうえ、決定してください）

②リモコンホルダーをねじ（リモコン付属品 2個）で固定する。
■取り付け位置が石こうボードやタイルなどの場合、ねじが効かないことがありますので、そのときには市販のアンカー用プラグ（現地手配）を使用してください。



③リモコンをリモコンホルダーに収納する。

リモコン操作可能範囲
●リモコンはリモコンホルダーからはずし、リモコン受信部（フロントパネル）に向けて操作します。
●操作可能距離は、本体正面から約4.5m以内（50°以内）です。



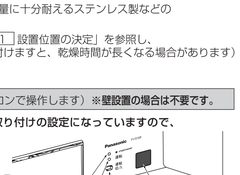
5　衣類吊り下げ用パイプの取り付け

衣類吊り下げ用パイプ（別売品）を取り付ける。
■衣類吊り下げ用パイプを購入されるときは、重量に十分耐えるステンレス製などの錆にくい品物を選んで取り付けてください。
■衣類吊り下げ用パイプの取付位置は、必ず「1 設置位置の決定」を参照し、取り付けてください。（指定の寸法以外で取り付けますと、乾燥時間が長くなる場合があります）

6　天井取り付けの設定（本体とリモコンで操作します）※壁設置の場合は不要です。

本体出荷時は、風向ルーバーの動作設定が壁面取り付けの設定になっていますので、天井取り付けの場合は以下の設定が必要です。

①ブレーカーを「入」にして2秒以上待つ。
②本体の「運転 切/入」スイッチを6秒間長押しする。
●3秒後に「ピー」と鳴ったあと、6秒後に「ピーピー」と鳴ります。
※一度でも運転した後は設定できません。その際は、①からやりなおしてください。
③リモコンに乾電池を正しく入れ、リモコンをリモコン受信部に向けて「運転 切/入」ボタンを押す。
●「ピッ」と鳴り、「nanoe（ナノイー）」（青）ランプが点灯します。
※設定できない場合はリモコンを受信部に向けて「モード」ボタンを押し、「部屋干し」モードに切り換えてください。
④リモコンの「運転 切/入」ボタンを押す。



※壁設置にもどす場合は、再度①～③をおこない、「風量」ボタンを押す。
●「ピピッ」と鳴り、運転（赤）ランプが点灯します。
そのあと④をおこなってください。

7　試運転

取扱説明書の「使いかた」を参照し、試運転をおこない異常がないか確認する。
異常についての内容、処置については取扱説明書の「故障かな」を参照する。
■引き渡しまで期間があく場合は、試運転確認後、リモコンの乾電池を抜き、取扱説明書とともにお客様にお渡しください。

パナソニック株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社
〒486-8522　愛知県春日井市露来町字下仲田4017番　TEL(0568)81-1511

©Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2010

07SBZ4010C-P0410-3012

きりとり　きりとり　きりとり